

1

（配点：100点）

以下の文章を読んで、設問に答えよ（法学の知識を問うものではないことに注意）。

大学のゼミで、次のような事例についての議論が行われている。

「航行中の船が座礁し沈没したが、乗組員のうち数人は運よく救命ボートに乗ることができた。しかし漂流している間に、ボートに積んであった水と食料は尽き、乗組員たちは飲まず食わずの日々が続いていた。捜索の船や飛行機の姿を見ることはなく、助けを求める通信手段もない。そんな中、乗組員の1人Aがボートから足を滑らせて海に溺れてしまった。他の乗組員がボートに引き上げたものの、溺れた乗組員は大量の海水を飲み瀕死の状態となった。そこで乗組員の1人Bが『このままであれば、Aだけではなく我々も死ぬのは時間の問題だ。いっその事、もう助からない彼を殺してその肉を食い、我々は生き延びよう』と提案し、他の乗組員も同意しこれを実行した。」

設問 この事例につき教授甲と学生乙が議論している。あなたは学生乙になったつもりで、以下の空欄（1）（2）（3）（4）の答えを、それぞれ答案用紙5行以内で補充せよ。ただしその際、結論を先に述べ、その理由と予想される反論への応答を続けて述べよ。

甲「まず初めに、君自身がAとB以外の1人の乗組員だったら、Bの提案を実行するかどうかを聞いてみたい。」

乙「（1）

甲「なるほど。ではこの事件の翌日、通りがかった船に発見されて乗組員たちは救助され帰国したが、この事件のことが明らかになってしまい、殺人の罪で裁判にかけられることになったとしよう。もし君が裁判員として関わることになったとしたら、乗組員たちは有罪であると主張するかな？」

乙「（2）

甲「そうか、君の意見はわかった。でも、もし何か条件を一つ加えることによって、今の君の結論が逆になるということはあるかな？ なければ『ない』でも良いのだが。」

乙「（3）

甲「ちょっと視点を変えて聞きたいのだが、この事例って脳死の人の体から臓器を取り出して、それを必要とする患者に移植する医療と類似しているのに気づいたかな？ 切羽詰まった状況で、自分の生命を守るために死に瀕している他人を利用する、という点は共通だ。事例に関する君の意見はわかったが、その考えで行くと脳死臓器移植を制度として法で定めることには賛成なのか反対なのか、君の意見を聞かせて欲しい。」

乙「（4）

以上